



寺院名物シリーズ㊟ 立善寺の「五劫思惟の像」(大田東組)

「石見の左甚五郎」と呼ばれた、名工初代「清水 巖^{いわお}」の彫った『五劫思惟の像』(高さ18cm)
立善寺に泊ったお礼に彫ったと伝承されている。明和8年(1771年)5月 旅客として波根に立ち寄り、名号を称えつつ、一刀一刀心を込めて彫ったものだと銘がある。

山陰

編集 御同朋の社会をめざす運動
発行 山陰教区委員会
〒690-0001 松江市大正町四三ノ一
本願寺山陰教堂
TEL 〇八五二 21 四七四七
FAX 〇八五二 27 八三五一
発行者 野川大卓

今年度第一回中央委員会を終えて

「御同朋の社会をめざす運動」
中央委員会 委員 澤田隆之

去る七月四日(木)宗派伝道本部において「本年度第一回の実践運動中央委員会」が開催された。

会議冒頭総長より『明年六月の法統継承予算が承認されいよいよ「新たな始まり」を実感する。これから思いの中にも昨年度より取り組みを始めた「御同朋の社会をめざす運動」における教区、特区、組、本願寺、直轄寺院、直属寺院の重点プロジェクトへ実践目標が出揃ったのでそれぞれの推進計画に添って運動に取り組みたい』旨の挨拶があった。

会議では、それぞれの重点プロジェクト概要報告の後、二〇二二(平成三十四)年度伝道本部(宗務所)各教区・特区の運動推進状況・点検結果等について報告が行われた。

続いて行われた協議の場では活発な議論が交された。その概要はこれまでの基幹運動の総括も充分とは云えないままに実践運動に移行することは拙速の感を拭い得ない、又、地方・地域の身近な課題をふまえた実践と運動のボトムアップが参加の拡がりへつながらずとするも、「何をやっても良い」の実践目標は全国多岐にわたり、共有する運動の理念や、収斂する物語り性が確認出来ない。

特に、この度の三ヶ年という短い計画年度にあつて運動の点検・評価を求めるも、その基準すら曖昧であり、甘い自己評価に終わりがねない。

これまで基幹運動として長年取り組んで来た「同朋運動・門信徒会運動等」がそれぞれ新組織において経常部門に位置づけられることへの疑問も投げられた。

総体として、この度の「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」が定着するためには、多くの議論と試行錯誤の必要性を痛感したとである。

私達の山陰教区にあつては新たな組画も成り、各組それぞれの事情や課題も異なることであるが昨年実施した「寺院実態調査」を活用し、組内議論を深めながら地域に根付いた実践運動が展開されることを願うこと切である。

教務所長
災害見舞巡回寺院

7・29 鹿足組 常光寺

裏山より境内地に鉄砲水(床下浸水)

8・7 大田東組 正蔵坊

墓地擁壁(石垣)崩落

8・29 鹿足組 蓮得寺 門徒3戸被害

8・30 江津組 慈照坊 門徒被害

江津組 正蓮寺 門徒被害

裏山より境内地に土砂流入(納骨堂等一部損壊)

江津組 覚王寺 門徒被害

江津組 西教寺 門徒被害

8・31 江津組 蓮敬寺 門徒被害

江津組(川平) 正福寺

裏山より境内地(庫裡裏)に土砂流入

江津組 長玄寺 門徒被害

邑智西組 浄蓮寺 被害なし

9・2 邑智東組 高善寺

山門脇法面一部崩落

邑智西組 天蔵寺

裏山より境内地(庫裡裏)に土砂流入

邑智西組 西善寺 門徒被害
邑智西組 光西寺 門徒被害
浜田組 清岸寺

裏山・山門脇法面一部崩落
邑智西組 願入寺 門徒被害

浜田組 正蓮寺 門徒被害

浜田組 順興寺 門徒被害

浜田組 覚永寺 門徒被害

9・3 浜田組 正念寺 門徒被害

浜田組 光現寺

裏山より境内地(本堂裏)に土砂流入

江津組 浄光寺 門徒被害

江津組 慈照坊 門徒被害

2回目(お見舞い伝達)

江津組 西楽寺

裏山より境内地(本堂・庫裡裏)に土砂流入

9・11

大田西組 浄土寺 門徒被害

浜田組 光西寺 門徒被害

この7月・8月の島根県西部を中心とする水害によって被災されました皆様方に衷心よりお見舞い申し上げます。
また、この度の水害によりご逝去なされました方々にお悔み申し上げます。

二〇一三年九月十一日現在

「矯正教化連盟山陰教区支部総会」報告

期 日：平成二十五年四月二十六日(木)午前十一時～午後二時

場 所：本願寺山陰教堂教化センター

出席者：八名

議 題：平成二十四年事業報告・予算補正案・決算報告・事業計画案・予算案

役員改選・篤志面接委員の連盟加入・各施設状況報告など

内 容

役員任期満了に伴う役員改選が行われ、副支部長に高野顯信師、幹事に藤森観海師、岳田忍司師、監査に上杉正之師、内藤大拙師が選任されました。

篤志面接委員については、全国的には教区矯正教化連盟に加入されていることが多いのですが、山陰教区では未加入であるため、今後加入を勧めることとなりました。各施設状況報告では会員一人ずつ、施設における活動状況を報告なされ、大変有意義な情報交換の場となりました。

伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品

株式会社
古田た佛具製作所

営業時間／午前9時より午後5時30分 定休日／日・祝日

〒600-8227 京都市下京区七条堀川上ル菱屋町(西本願寺前)
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836
http://www.furuta-buttsugu.jp



Your Global Lifestyle Partner
株式会社JTB中国四国
松江支店

住所：〒690-0003

島根県松江市朝日町480-8 松江SKYビル1F

TEL：0852-23-2020 (国内旅行)／23-2024 (海外旅行)
0852-23-6720 (団体旅行)

FAX：0852-23-2023

平成二十五年度

布教団総会・研修会

大田東組 高林寺 菅原 俊軌

中村元記念館（大根島の松江市役所八束支所）を午後の会場とした今年の総会でした。書齋がそのまま再現され、蔵書は三万冊を越えます。学生紛争で学問の場の制約を感じ財団法人東方研究会を設立され、退官後は東方学院を設立し、学院は八束の記念館にも昨秋開設されました。

先生は松江市殿町の出身で吉田史章住職（記念館NPO理事）の真光寺門徒です。先生は松江をこよなく愛され、笑顔を絶やさず、とても丁寧な言葉を選んでお使いでした。日本書紀が仏教伝来を五五二年と伝えたのは、仏滅後千五百年の像法に入ったとの計算によっていました。

先生はアシヨーカ王の即位から推考し、入滅は紀元前三八三年とされ、現在、世界の仏教学会の共通認識となっています。

山陰中央新報は生誕百年に「学者は特殊な、珍しいテキストを取り上げて、鬼の首でも取ったよう



にして、それを論ずる。しかしありふれた古典の中から思想をえぐり出すことが必要ではないか。和辻が日本倫理思想史の演習で語った、この言葉は、中村の心に長く残った。(略)：と書いています。島根県人として、山陰教区人として、先生は誇りであります。なお総会は布教使四十八名出席、副団長に本多昭人氏の後任として北島清秀氏が就任されました。

二〇三(平成二五)年度
キッズサンガ
サポーター研修会

キッズサンガサポーター研修会が七月二日(火)に行われました。本願寺山陰教堂教化センターを会場に行われ、参加者は二十三名でした。

キッズサンガでは、今年度新たなガイドラインが作成され、今回はその新ガイドラインを基に研修会が行われました。

本山より中央キッズサンガ推進委員の松月博宣師をお迎えし、「さらに根付かせるため」をテーマに講義をいただきました。

午後からは鳥取因幡組、飯南組、江津組の代表の方より各組でのキッズサンガ活動の報告を行っていただきました。

次に参加者がブロックごとに分かかれ、ブロック部会を行いました。各ブロック部会の協議内容をブロックごとに報告していただき、その後松月先生によるまとめのお話が行われました。



実践運動事例募集

実践運動山陰教区委員会は、実践目標・達成目標並びに推進計画にしたがって、活動をされている寺院の事例を募集いたします。

地域の人が訪れやすい寺院環境をつくることによって、新たなコミュニケーションづくりをめざすユニークな活動がありましたら、教務所までお寄せください。四百字詰め原稿用紙1枚と写真1枚程度を教区報に事例を掲載させて頂きたく存じます。よろしくお願い申し上げます。

お仏壇・仏具は やっぱり京都・・・



伝統工芸 京仏壇・京仏具

(株) 若林

www.wakabayashi.co.jp

京都本社 / 京都市下京区七条通新町東入
☎(075)371-3131 代年中無休 手600-8218

フリーダイヤル ☎0120-37-8585 (各店共通)

東京店・築地店・札幌店・仙台店
近江草津店・福岡(営)・新潟(営)

E-mail info@wakabayashi.co.jp

心に残るご法度を...
Support 750
MADE IN KYOTO

「実践運動各組選出者
連絡協議会」報告

期 日：平成二十五年六月五日（水）

午前十一時～午後二時四十分

場 所：本願寺山陰教堂教化セン

ター

出席者：各組選出者十六名・勤式担

当者三名

議 題：実践運動に関する事務連絡

実践運動推進協議会につい

「特別法務員・法務員連絡協議会・勤式研修会」報告

期 日：平成二十五年七月三十日

（火）午後一時三〇分～午

後五時二十分

場 所：本願寺山陰教堂 教化セン

ター研修室

出席者：午前十五名・午後六十名

連絡協議会

・葬儀の在り方などについて

・東日本大震災三回忌法要ボラン

ティア出勤に関して

・山陰教区勤式指導所の設置につ

いて

勤式研修会

・門信徒の問いに答えられる「基

礎知識」を身につける

て
実践運動推進僧侶研修会に
ついて
勤式について

内 容：従来の「組相談員研修会」
「勤式推進者研修会」を併合する形で
各組選出者の連絡協議会を開催しま
した。えてして上意下達」といわれ
た従来の組織見直し、但しその尊い
実績・成果はいただきながら、今後
は自分たちで考え創造し、成果を出
してゆくことができる体制に代わり
ました。従いまして実践運動につい

講 師：本願寺式務部長 梶原教朗先
生

従来、開催していました「特別法
務員・法務員研修連絡協議会」を教
区内全僧侶対象に発展させ、初めて
の試みとして開催しました。午前中
は特別法務員・法務員の方を対象と
した連絡協議会で、前述の議題につ
いて協議がなされました。特に山陰
教区内で勤式指導所（継続的な勤式
の学びの場）を開設したいという話
がなされ、教区内5ブロック毎に開
設すればどうかという話し合いがな
されました。まだ、具体性をもった
話ではありませんが、早期実現に向

ては、中央からの講師もない連絡協
議会になるわけですが、理念は、山
陰教区で力を結集し、推進すること
であります。

また、教区勤式指導員能美顕之先
生から、ご門主のご退任の意向につ
いて、本堂等脇壇・余間の左右の呼
称変更について、教区での勤式研修
会について、巡讀資格取得講習会案
などの詳細なお話があり、最後に各
組における勤式の旗振り役になつて
ほしいとの切なる思いをお話いた
きました。

けて協議が重ねられることと思いま
す。午後は、全僧侶を対象とした勤
式研修会で、初めての試みながら多
数の参加をいただきました。本願寺
式務部長梶原教朗先生にお越しいた
だき、基礎的講義はもちろんでした
が、浄土真宗の僧侶としての心構え
を改めて教えていただいたありがた
い研修となりました。参加者からは
改善点として建設的なご意見なども
頂きました。好評につき今後もこの
ような研修会を継続する予定です。
なお、別に開催する僧侶研修会の際
にも時間を設けて勤式講習を行いま
すので、勤式の研鑽にお役立ていた
だけると思います。

御本山 近 用達

株式
会社

川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055

(600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367 (代)

FAX (075) 371-5088

御本山御用達 開明社員

井筒法衣店

代表取締役社長 幾田潤

(〒600-8503) 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)

フリーダイヤル TEL 0120-075-720

フリーダイヤル FAX 0120-075-490

袴・袴式
・門徒衣
・珠・帷
・旗念珠
・袴襦
・袴襦
・袴襦
・袴襦
・袴襦
・袴襦

若寺婦研修「坊守のめざめ」に学ぶ

鳥取因幡組 願正寺 衣笠 千秋

この度教区若寺族婦人研修会が当鳥取因幡組での開催となり、お陰様で本堂で一日研修というなかなかいい貴重な機縁をいただきました。

今年の中四国仏婦大会という大きな行事を我が教区が主催する為、早目の開催を頼まれ、去年度の研修会からまだ三か月もたないうちに急ぎ準備を進めることになりました。

組内寺婦による開催準備会で「坊守は今どういったことを学ぶべきなのか？」という問いかけが出ました。

そこで何とか現役で活躍中の坊守さんのお話が聞けないものかと探り当たったのが、今、全国坊守寺族女性連絡会で機関紙「ともに」編集を担当されている高岡教区善興寺坊守飛鳥一枝先生でした。

飛鳥先生は、私たちの素朴な問いかけに答えるべく、ご自身の現況やそれまでのこと、先生から見える全国の坊守の方々の現状などを丁寧にお話し下さいました。そして仏婦や壮年会のような坊守の全国組織が本山の教化団体ではなく、だから全国坊守寺族女性連絡会という任意の会

が誕生することになったということなど、先生の素直な考え方やお話は、同じ坊守同志ということもあってか内容のどこかに必ず共感するところがありました。

午後の班別討議もリードは先生。問題提起「お寺の問題点」「これらのお寺はどうあるべき」を「フアシリテーション」技法で。この技法だと普通に会話で討議するより本音に近い意見が登場し、私たちの今後の寺院生活や活動への指針になるような考え方、また新たな意欲がめばえ、気づかされました。

先生は苦勞されてきたことも「お育て」とうけとめ、寺内の役割も多々忙しい中でも自分に必要と思うと、できることから意欲的に飛び込み学ぶことで、このような多才な坊守さんになられたのです。その姿を学び、私たちもこの度芽生えた意識を今後も持ち続けていきたいと思えました。

※フアシリテーション
会議やミーティングなどで、流れが円滑に進むように、中立的な立場から支援する技法のこと

「同朋社会研修会」報告

期 日：平成二十五年七月九日(火)

午後一時三〇分～午後四時

場 所：あすてらす

参加者：九十八名

講 題：ハラスメントって何？

講 師：澤アツ子先生

前鳥根大学男女共同参画推進室教授・室長

公益財団法人 二十一世紀

職業財団鳥根県駐在代表

元財団法人 しまね女性センター(あすてらす)事務局長

松江組 真光寺門徒

内 容：セクハラ・パワハラについて

鳥根県のハラスメント対策の第一人者である澤先生に講義をいただきました。

実践運動として、初めての試みの研修でした。

この研修は、「現代には宗教が欠けている。そして宗教には現代が欠けている」という哲学者の言葉があるように、み教えを伝えていく社会(人)には、今どのような問題(苦)があるのか、ということ学ぶため教区の中心的立場にある方々にお集まりいただき開催いたしました。

研修後のアンケートにも、新鮮だった、受講してよかったという声が多数ありました。

この度の研修を今後どのように生かしていくかは個人の問題かもしれませんが、教区同朋社会部会としては概ねこのような研修を継続していく計画です。

ビハラー山陰研修会

六月六日、本願寺山陰教堂研修センターにて、ビハラー山陰研修会が開催され、心身教育研究所の土江

正司氏より講演をいただきました。テーマは「言葉の向こうの体験に触れる―こころの天気描画法で学ぶ面接技術―」。

心の整理法、フォーカシングについて説明の後、こころの天気描画法のワークショップを行いました。

今自分の心を天気例えて絵を描き、その下にその天気を描いた理由や、心に思ったことを「つぶやき」として記入。最後に、「つぶやき」から言葉を拾って俳句のように五七五でまとめるという作業でした。

これを三、四人のグループでシェアし、一人の作品についてメンバーがコメントを述べるといったワークショップを行いました。

三十二名のご参加があり、お一人お一人「気付き」があったようです。

「ともしび法座」開座について

山陰教区寺院振興対策員会では、本年度「ともしび法座」について「二十会所開座」を目標に掲げています。平成十四年度から数えて十二年目を迎えました。近年開催寺院が固定化してきています。教区ではさらに多くのお同行に、じかにおみのりに遇うご縁をお持ちいただきたいと考えております。ぜひ、この制度をご利用いただき、ご寺院の法座開催の一助としていただきたく、ご案内申しあげます。

一. 目的

過疎・高齢化の進む山陰教区において、住職の不在等のため法座開催が困難になっている寺院を対象に、教区布教団員による法座を開催し、その地域門信徒の御法義相続と寺院機能の振興を図ることを目的とする。

二. 名称

寺院振興「ともしび法座」

三. 対象

組長より申請のあった寺院を対象とする。

なお、対象寺院の選定は当該組長によるものとする。また希望寺院が多数ある場合、教区が調整することもある。

四. 法座内容

一般法座とし、教化団体等の研修目的のものを含む。原則として1日とする(当該寺院の要望を聞く)。

五. 出講者

奉仕布教として志願をした教区布教団員。

六. 開催申請

「ともしび法座」対象寺院の所属する組の組長は、二ヶ月前までに教区寺院振興対策委員会委員長に申請書(様式①)を提出する。

七. 実施報告

「ともしび法座」開催寺院、または、その寺院の所属する組の組長ならびに講師は「ともしび法座」開催より2週間以内にその実施報告書(様式②)、出講報告書(様式③)を教区寺院振興対策委員会委員長に提出する。

八. 経費

実施報告を受けて、教区は、該当寺院または該当組に対して開催費用として一万円を支給する。また、講師謝礼については、交通費等として一会所一万円を支給する。

備考

- ★「ともしび法座」の講師は山陰教区布教団によって決定する。
- ★ 参詣者懇志は該当寺院、又は組事務所とし、地域の教化伝道に充てる。
- ★ 「ともしび法座」の事務局は、山陰教区教務所に置く。

仏教婦人会連盟総会

二〇一三(平成二十五)年度山陰教区仏教婦人会連盟の総会・研修会を、五月二十三日にビックハーブ出雲、五月二十四日に江津組蓮敬寺さまにて開催しました。

総会では、二〇一二(平成二十四)年度の事業報告並びに決算報告、二〇一三(平成二十五)年度の事業計画案並びに予算案について協議が行われました。

また、この度は、実践運動研修会として、仏教婦人会連盟講師花岡静人先生に講師としてご出講いただきました。

テーマは「なぜ実践運動なのか、成果の継承と課題の克服」。基幹運動が「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)と名称を改め推進することとなった経緯と今後の方向性についてわかりやすくお話しをいただきました。

東部会場は一六五名、西部会場は二五五名のご参加をいただきました。活発な意見交換がなされました。ご参加ありがとうございました。

親子で読んでほしい

有福の善太郎

好評発売中! 1冊800円(税込)

妙好人有福の善太郎さんのお話が親子で読んでいただける本になりました。寺院様をはじめ、ひろく門徒様、ご家族でお買い求めいただけますようご案内いたします。ご注文は下記の電話かFAXにて承ります。



手をあわせ 心あわせて しあわせに

報恩

感謝



ぶつだんの

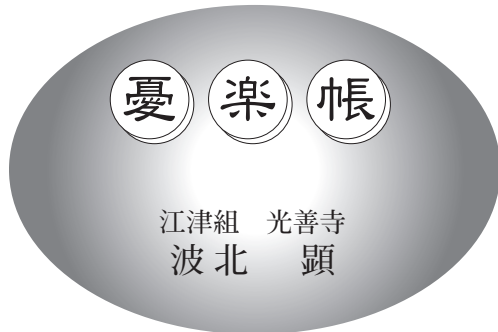
内田裏造商店

・木次 0854-42-0266
 ・下熊谷 0854-42-3711
 ・出雲 0853-21-3253

ハーベスト出版 〒690-0133 松江市東長江町902-59
 TEL(0852)36-9059 FAX(0852)36-5889
 株式会社谷口印刷 〒690-0133 松江市東長江町902-59

私は龍谷大学の学生だった時、「フォークソング認定同好会黄色いトマト」というサークルに入っていました。フォークソングと言っても当時はフォークソングをしている人たちはおらず、もっぱらロックなバンドばかりでした。私はその部で「スカ」という音楽ジャンルのバンドを組んで楽しく活動していました。パートはトランペット。「スカ」というジャンルは、カリブ海に浮かぶジャマイカという国で生まれた音楽で、非常にノリがよく聴いても演奏しても楽しい音楽です。

学生生活も終わり、江津に帰ってきてからもずっとスカの曲を聴いてはいましたが、次第にもう一度バンドを組んで演奏してみたいという気持ちが強くなってきました。そこで、山陰教区内の音楽好きで楽器を演奏できる人たちに声をかけ、今から2年前何とかスカを演奏するバンドを組むことができました。名前は「ザ・スペシャル坊ズ」別にスペシャルな坊さんがメンバーというわけではなく、ザ・スペシャルズというバンドの曲を主に演奏するからです。



この「ザ・スペシャル坊ズ」メンバーは7名。全員山陰教区内の本願寺派の僧侶です。したがって今までは、益田市の教西寺様で行なわれた鹿足組若婦研修会や浜田市三隅町の常福寺様のカフェスといったお寺の行事でライブをさせていただきました。また練習の合間にはご法義談議になったり、ライブではトークが自然にご話になつたりします。一応リーダーである私は、このメンバー全員お坊さんと言うところが気に入っているのです。なぜなら皆が阿弥陀さまという同じ方向を向いているからです。同じみ教えを聴かせていただく仲間で、ともに音楽も楽しむことができます。こんな有難いことはないなど、遠くから練習に参加してくれるメンバーに感謝しつつバンド活動を楽しんでいます。

ライブのご案内・9月19日(木) 浜田市三隅町石正美術館の「お月見の会」に出演します。時間は午後6時30分からです。同時に三隅組常福寺若院の三浦好真くんのダンス教室の発表もあります。

二〇一三(平成二五)年度 教区仏壯連盟総会・研修会

教区仏教壮年会連盟の総会・研修会が四月二十一日、本願寺山陰教堂を会場に行われ、参加者は九十四名でした。

当日の議題は、「平成二十四年度連盟事業承認について」並びに「決算承認について・会計監査報告」並

「東日本大震災」ロビー展示

本願寺山陰教堂のロビーで、「東日本大震災 あれから二年」と題し写真展示を行なっています。

写真は、野川教務所長が宮城で四月に撮影したものです。今もなお深く残る爪跡。復興にはまだまだ時間がかかることを物語っています。ご参拝の折にぜひご覧ください。また、災害支援金の募金箱も



びに「平成二十五年度連盟事業計画(案)承認について」並びに「平成二十五年度連盟予算(案)承認について」並びに「規約改正について」でした。

総会終了後、宗派より仏教壮年会連盟活動推進講師の藤井邦磨師を講師にお迎えし、「朋友の輪を拡げよう」わたしの実践運動」をテーマに研修会が行われました。

設置していますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ひとこと

山陰教区教務所 書記 菅 龍 慈

昨年度より教務所に勤務させていただきました。早一年以上となりました。

最初は何もわからず多くの皆様にご迷惑をおかけしました。

そんな中、私を成長させていただいたのが「教区仏壯連盟三十周年記念大会」であったと感じます。

当初は不安ばかりでしたが、皆様のお力添えにより無事大会を終えることができました。今後とも皆様からお育ていただき成長していければと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



組画変更—江津組の場合

江津組組長 山本真文

このたびの組画変更によって新江津組が発足して一年三ヶ月が経過しました。新組は六組からの合流で、当初四十二カ寺でしたが一カ寺解散して、現在四十一カ寺で構成しており、その中十四カ寺が無住(代務)寺院であり、組の運営や活動にも大きな影響があります。これまでの各組の活動や運営の仕方など相当な違いがあり、各々の経験話し合い、理解しながら活動や運営を進めていきます。

さて、組画変更によるメリット・デメリットなど論じるべきではありません。組画変更は必然的な結果であり、浄土真宗の伝道にとって江津地域を一つの組にまとめ実行することが何より重要であると思います。各寺院は伝道拠点であり、住職・僧侶・坊守は伝道者としての自覚を持って、そのメンバーである所属門徒をリードし、教化の先頭に立つて活動する義務と責任を持ち、所属門徒だけではなく、組内全域の門徒・信徒を導く使命があります。

伝道教化の内容とは、まず仏教徒としての意識の養成が第一であり、浄土真宗という一宗派に所属する前

に一人一人が仏教徒であるという意識をもって生活するということが重要です。釈尊の教えの究極の目的は、覚る・悟りを開く・仏に成る・成道ということであり、仏旗を掲げ、梵鐘を鳴らし、生命の尊さを説き、食物をはじめすべての物の大切さを伝えることです。精進・忍辱(忍耐)も同様に大切です。

仏教的な精神基盤を構築した上で、浄土教・浄土真宗の意義を強調することです。御本願の謂れを説き、お名号の功德と働きとを語ることで、その際、国家という価値が御法義より優先されてはなりません。仏教やお念仏は、特定の国家的価値や規範に従属するべきではなく、国家や民族、人種を超えて普遍的に伝えられていくべきであります。浄土真宗の伝道者は、その使命を充分自覚すべきであります。南無



編集後記

表紙を飾っている、寺院名物シリーズも二十五回目となりました。今回当初予定していたものがそのお寺にないということで、急遽拙寺蔵清水 巖作『五劫思惟の像』を載せました。

平成十年『蓮如上人五百回遠忌』の記念事業として開催した『石東ブロック寺院寺宝展』に出品したのですが、寺宝のようなものは興味がありませんでした。本年六月十六日山陰中央新報の彫刻家田中俊晴さんの記事を見て、清水 巖が江戸時代「石見の左甚五郎」と呼ばれた類稀なる名工であることを知り驚きました。それが拙寺にあるということ、憚りながら教区報の巻頭写真に使わせていただきました。

うちのお寺にはもつとすごいものがある等、自薦、他薦を問いませんので、どしどし教区報編集委員会(教務所)までお知らせください。又教区報に新風を吹き込みたい、編集が好きた、編集委員になりたいと燃えている方も、ご連絡下さい。待つてます。(RS)

『信頼からコミュニケーション』

団体参拝のご計画はお気軽にご相談ください。

株式会社近畿日本ツーリスト中国四国 山陰支店
〒690-0887 松江市殿町517 ☎(0852)22-4893